

給与について

当センターの給与規程により、学歴及び経歴を考慮の上、初任給(給料)を決定します。令和6(2024)年4月1日現在における初任給は、下図のとおりです。

官公庁、会社等に勤務した経験のある方は一定の基準により加算されます。

このほか、家族構成や勤務状況等に応じ、扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当等を支給します。

また、期末・勤勉手当(ボーナス)が6月と12月に支給されます。(昨年度は年間4.5か月分を支給。ただし、在職期間等によって異なります)

試験区分	学歴	給料(地域手当3.5%含む)
大卒	大学卒	209,484円
高卒程度	大学卒	206,379円
〃	高等専門学校卒	188,163円
〃	短期大学卒	188,163円
〃	高等学校卒	176,881円

勤務時間・休暇について

勤務は原則午前8時30分から午後5時15分まで。働き方改革として、「時差出勤」も選択可能です。

また、完全週休2日制で、土曜日と日曜日が週休日となっています。

年次休暇(有給休暇)は年度ごとに20日付与され、このほかにも夏季休暇、産前産後休暇、短期介護休暇、看護休暇等があります。

公益財団法人とちぎ建設技術センター
本部(河内庁舎別館1階・2階)
栃木県宇都宮市竹林町1030-2
TEL:028-626-3186(代表)

とちぎ建設技術センター

検索

令和6(2024)年度 職員採用ガイド

私たちと一緒に
とちぎ建設技術センターで働いてみませんか?



【積算】擁壁工事 408号宇都宮高根沢BP(栃木県受託業務)

とちぎ建設技術センターは、主に栃木県庁や県内各市町の土木、建築、下水道行政を支援するため、積算業務や現場技術業務、下水道処理施設の維持管理業務等を行う団体です。

とちぎ建設技術センターとは？

とちぎ建設技術センターは、道路、河川、下水道及び公共建築などの社会資本の整備や管理を通じて、安全で豊かな地域づくりに貢献する団体です。

主に栃木県庁や県内各市町の土木、建築、下水道行政を支援するため、積算業務や現場技術業務、下水道処理施設の維持管理業務等を行います。

経験豊富な先輩方による技術指導や、年代別に合わせた外部研修体制を完備し、業務に必要な資格の取得支援も積極的に行っています。

また、給与や休暇制度、福利厚生については栃木県庁に準じた制度を取っているため、ワークライフバランスも充実しています。

あなたも、とちぎ建設技術センターで働いてみませんか？

理事長から就活者（生）の皆様へ

とちぎ建設技術センターは、専門分野も経歴も多種多様な人材が揃った団体です。

今回募集する土木職は、公共建設工事の設計書を作成する「積算業務」や、県や市町の現場監督を支援する「現場技術業務」を担う職種です。

地域住民の日々の安全な暮らしや未来に向けた発展の礎（いしずえ）を築く、大変重要な仕事を行います。

～夢と希望を持った皆様の応募を心からお待ちしております～



公益財団法人
とちぎ建設技術センター
理事長 田城 均

先輩職員からのメッセージ

◎とちぎ建設技術センターに就職した理由は何ですか。

将来は、高校と大学で学んだ土木工学を活かし、地元の社会資本整備や発展に貢献したいと考えていました。その中で、県や市町の建設行政を支援しているセンターのを知り、就職したいと考えました。

◎担当している業務はなんですか。

公共工事の発注における積算業務や発注者側の監督職員代行といった工事管理業務を担当しています。

◎今まで印象に残っている仕事は何ですか。

初めて携わった橋梁の積算業務です。

自分の知識・経験不足もあり、大変苦労しましたが、周りの先輩からのアドバイスもあり、無事やりとげることができました。

◎今後どのような技術者になりたいですか。

センターでは、道路や河川、橋梁、トンネルといった様々な工事の積算や管理業務に携わることができます。今後より多くの業務に積極的に取り組み、一人の技術者として、栃木県社会資本整備に貢献していきたいと思っております。



建設部 北部出張所
S技師
(土木職/入社8年目)

◎とちぎ建設技術センターに就職した理由は何ですか。

高校生活で土木を学ぶ中、地域づくりで、生まれ育ってきた故郷に貢献できる職業に就きたいと考えていました。高校での就職活動の際に、恩師からセンターを勧められ就職を希望しました。

◎担当している業務はなんですか。

主に道路・河川・橋梁などの土木工事の積算業務を担当しています。

◎今まで印象に残っている仕事は何ですか。

私が初めて担当した積算業務が公共工事として発注され、実際に工事現場を見て形になっていくのを見たとき、とても誇らしく思ったことが印象深かったです。

◎今後どのような技術者になりたいですか。

まだまだ知識が不足しているところがあるので、上司や先輩に教わりながら自己研鑽に努め、先輩方のように高度な業務を遂行できるようになりたいです。

先輩方は皆丁寧に仕事を教えてくれやりがいがあり、職場の雰囲気もよく働きやすい職場だと感じています。



建設部 建設技術課第二担当
N技師
(土木職/入社2年目)